

からふる



創刊号 平成25年3月
発行：千歳市教育委員会

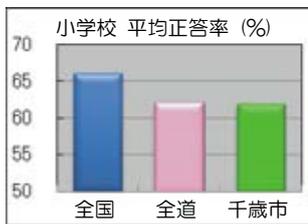
「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取り組みを広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

平成24年度「全国学力・学習状況調査」の結果

平成24年4月17日に小学校6年生と中学校3年生を対象に北進小中学校を除く市内全ての学校で行われた「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。この調査は、学校の教育活動の側面を測るものであること、また学校の序列化や過度な競争につながらないように一人ひとりの児童生徒の力を伸ばす方策をとるために行ったものです。

千歳市では平成24年6月に「学力向上検討委員会」を設置し、これまで各学校が取り組んできた内容を踏まえ、「確かな学力」の向上をめざして調査結果の分析や対策を検討してきました。今後も、学力向上に向けた取り組みを進めていきます。

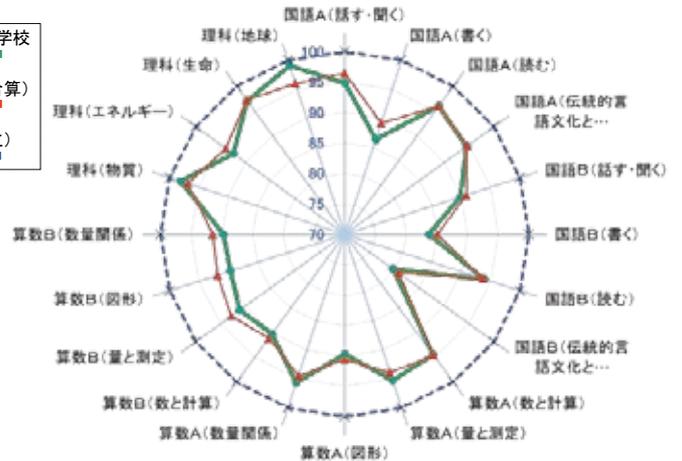
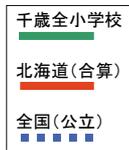
【小学校 教科全体】 全国平均よりもやや低く、全道平均とほぼ同様でした。



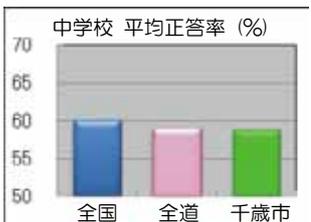
国語では、「書くこと」に課題が見られました。国語Bの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に課題が見られました。

算数では、特に「図形」に課題が見られ、全体的に全国平均や全道平均を下回った領域が多く、さらに理解を深める指導が必要な状況でした。

理科では、「エネルギー」の領域で課題が見られました。



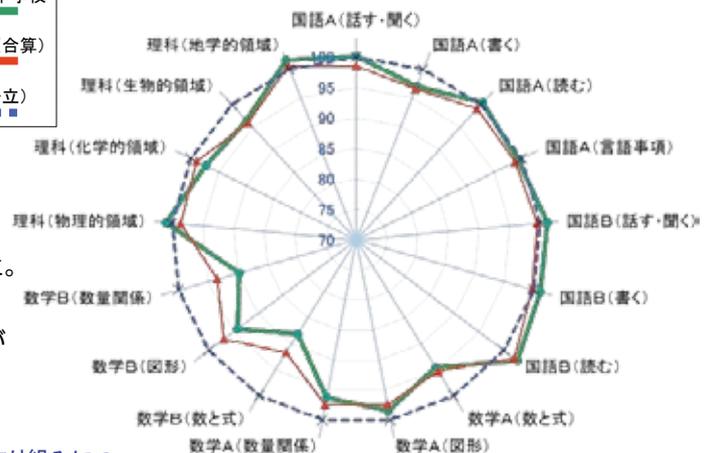
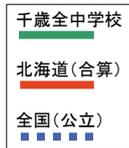
【中学校 教科全体】 全国平均とほぼ同様であり、全道平均と同様でした。



国語の「書くこと」に課題が見られましたが、国語B（主として「活用」に関する問題）はよくできており全国平均を超えていました。

数学では、「数と式」と「数量関係」に課題が見られました。国語と比較すると全国平均との差が大きくなっています。

理科では、物理的領域と地学的領域はよくできていましたが生物的領域と化学的領域に課題が見られました。



※ この調査では、教科の調査だけでなく児童生徒の生活のようすや学校の取り組みについても調査しています。また、「結果」から学校や家庭、教育委員会がそれぞれ何を行うていくことが必要であるかを検討しました。詳細は千歳市ホームページをご覧ください。

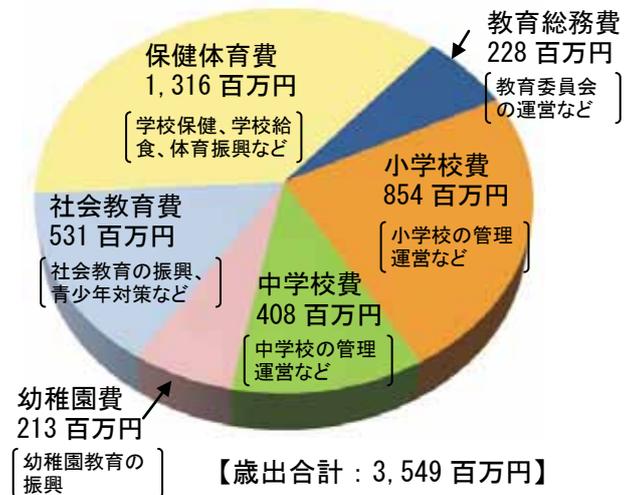
平成25年度教育予算（案）の概要

平成25年度の教育予算（案）は、総額 3,549 百万円
で内訳は右グラフのとおりです。

『学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち』をめざし、平成25年度は主に次のような取り組みを進めます。



平成25年度の教育予算（案）の内訳



学校教育基本計画を策定します

千歳市が今後目指すべき学校教育の基本的な方向性を示し、計画的な取り組みを推進するために、(仮称)千歳市学校教育基本計画を策定します。

特別支援学級を新たに設置します

特別な支援を要する児童生徒の教育環境を充実するため、25年度から新たに祝梅小学校と富丘中学校に特別支援学級を開設します。
向陽台中学校は26年度に開設予定。

学生ボランティアによる学習サポート

小中学校の夏、冬休みの期間に千歳科学技術大学の協力により大学生ボランティアが児童生徒の学習をサポートする事業を実施します。
・休日における児童生徒の学習習慣の形成
・学習のつまずき解消

学校図書館に図書館司書を派遣します

学校図書館の環境を充実するため、小中学校に図書館司書を派遣します。
・学校図書館の運営補助、図書ボランティアへの支援などを行います。



小中学校の耐震化 100%へ

子どもたちの安全な教育環境を確保するため、計画的に耐震化改修を実施しています。
・東小学校、北進小中学校、東千歳中学校で耐震化改修工事を行います。
・屋内運動場の天井材などに落下の危険性がないかを全校で調査します。

キウス周堤墓群の史跡整備を行います

北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の世界文化遺産登録に向けた取り組みを行います。
・リーフレットなどの作成
・地形測量などの現地調査



(写真)北海道立埋蔵文化財センター所蔵品

標準学力検査を全校統一化します

小中学校で実施している標準学力検査を全校で統一化し、学力向上に向けた取り組みを一層推進します。
・小学校 2～6 学年 ・中学校 1～3 学年

いじめ問題の対策

児童や生徒の心の問題への対策を充実します。
・スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談、カウンセリング時間を拡充
・「なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム」の開催

スポーツセンターのリニューアル

スポーツセンターのリニューアル工事を実施し、安全性、機能性、利便性の向上を図ります。
・耐震補強工事、エレベーター設置、ランニングコース設置、トレーニング室増築など
・休館期間 平成25年4月～26年3月
※工事期間中、施設はご利用いただけません。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



千歳高星大学の大学院を開設します

高齢者の生きがいづくりや社会参加を促すため、千歳高星大学を開設しています。
25年度は、学習意欲をさらに高めるため、『千歳高星大学大学院』を開設します。
・定員50名・修業2年間



学校の特色ある取組を紹介します！

青葉中学校



体力づくりに向けた取組み

～ 部活動・委員会・養護教諭との連動 ～



青葉中学校では、学校教育目標の中に、「強靱な意志と体力（体）」を明記し、「体力づくりと体育行事の充実」に重点を置き、体育祭などの体育行事や日頃の保健体育の授業を中心に体力づくりに取り組んでいます。特に、体育祭で学級全員が跳ぶ「長縄とび」は、生徒の思いが強く、毎年好成績が生まれています。

このような学校独自の取組みと3年生男女の新体力テストの平均データが評価され、昨年12月に開催された毎日カップ「中学校体力づくり」コンテストで、北海道初の優良賞を受賞しました。



奈路小学校との相互交流

～ 心の直行便 ～

支笏湖小学校では、新千歳・高知間の空路開設をきっかけに平成9年度から、高知県南国市立奈路小学校との交流が始まり、直行便廃止後も「心の直行便」事業として児童と保護者が相互訪問を行っています。

昨年11月30日から3日間、高学年児童、保護者など19名が奈路小学校を訪問し、地域の大歓迎を受け、児童はホームステイや学習発表などを行い、お互いの交流を深めることができました。

支笏湖小学校



東千歳中学校

地域性を生かした絵画指導

～ 自然や動物をテーマに ～

東千歳中学校では、周辺に牧場が多いことから、牛や馬は生徒たちにとって身近な存在であり、毎年、動物や自然をテーマとした各種絵画コンクールで入賞、入選するなど、地域性を生かした学習活動に取り組んでいます。

美術の竹津先生の熱心な指導により、今回も「国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」や「牛やミルクのある風景絵画コンクール」などで多くの賞を受賞するなど素晴らしい活躍をしています。



【農林水産大臣賞】



【北海道知事賞】



【北海道教育委員会教育長賞】



【金賞】

テレビ・ゲームの時間が全国より長く、家庭学習が少ない！

「全国学力・学習状況調査」結果では、千歳の子どもたちのテレビやビデオを見る時間が、小学生で「平日1日4時間以上」が27.9%で全国よりも4.6%多い状況です。「テレビゲーム」に限定すると、小学生では「平日1時間以上」が56.9%で全国よりも9.6%も多く、中学校では52.2%で全国よりも11%も多い結果となりました。

また、家庭学習の時間が、小学生で「平日1時間以上学習する」が47.8%で全国よりも11.7%少なく、中学生では「全くしない」が10.2%で全国よりも3.3%多く、小・中ともに家庭での学習量が少ないという状況でした。家庭学習の習慣づくりや家庭生活のルールづくりが大切です。

アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市ミアーズ中学校へ行ってきました

1月7日から13日の6泊7日の日程で、北斗中学校 荒木校長を団長とし、12名の市内の中学生が「中学校交流事業」としてミアーズ中学校を訪問し交流してきました。

生徒の皆さんは、ホームステイをしながら一緒に授業を受けたり、アラスカの文化を学習するなど楽しく過ごしてきました。



※千歳市とアンカレジ市は、昭和44年に姉妹都市提携を結び、様々な交流が行われています。



中学校で柔道授業がはじまりました

学習指導要領の改定により、中学校1・2年生で武道が必修となりました。

千歳市では全中学校で柔道を実施しています。



子どもたちの力を伸ばす学校掃除セミナー

1月10日 青葉中学校を会場に、市内各校から31名の教職員が参加し、研修を実施しました。

子どもたちの意識を高める工夫をすることにより「楽しく、早く、きれいに」なることを研修しました。

安全・安心な学校給食

学校給食の放射性物質について、平成25年1月に北海道が検査した結果、放射性物質は検出されませんでした。



また、平成24年9月から12月にかけて北海道教育委員会と千歳保健所による衛生管理の検査が行われた結果、特に大きな指摘事項はありませんでした。

学校適応指導教室「おあしす」の活動

2月1日 千歳・恵庭・北広島・石狩の「4市合同交流百人一首大会」に参加し、他の市の児童・生徒、スタッフと交流しました。

子どもたちは様々な活動を通じて、学校生活への復帰に向けた自己育成に取り組んでいます。



学生ボランティアによる学習サポート事業を試行しました

千歳科学技術大学の学生ボランティアによる学習サポートを冬休み期間中に行いました。今回は初めての試みでしたが、希望があった8校に学生49人が参加し、教員が行う冬季授業を支援しました。子どもたちからは、「質問がしやすかった」、「大学生に教えてもらえてうれしい」などの感想がありました。今年の夏休みには参加校を拡大し本格的に実施します。



【参加した学校】

- 小学校：千歳小、緑小、日の出小、信濃小、高台小、祝梅小
- 中学校：青葉中、富丘中

教育委員会委員長メッセージ

子ども達の健やかな育みのためには、学校・家庭・地域が手を携えてという願いはたいへん浸透してきており、多くのお力添えを賜り有り難いことと思っております。でも、日頃は居住する地域内の学校の様子しかわからないのが実情ですから、もっと市内の学校や教育についてお伝えしたいと願っておりました。

この度季刊「教育委員会だより『からふる』」を発刊し、市内の学校の授業や行事の様子とあわせて千歳市の教育の特色をお知らせしてまいります。市民協働の精神で学校教育を支え合い、社会教育もみんなで充実させていくにはその実際を知っていただかなければなりません。

『からふる』が学校、家庭、地域、教育委員会の視野と思いを広げ、居住学校内にとどまらず千歳市全体の良きつながりに役立ちますようにと祈念します。

千歳市教育委員会 委員長 山田 律子

編集・発行 千歳市教育委員会（教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地 ■電話：0123-24-0819（直通） ■FAX：0123-27-3743

■e-mail：kyoikukikaku@city.chitose.hokkaido.jp ■URL：http://www.city.chitose.hokkaido.jp/